

滋賀県議会だより



No.131

編集・発行 / 滋賀県議会

2月定例会議の概要

2月16日～3月19日の32日間

2月定例会議では、「子ども・子ども・子ども」を中心とした施策の展開や「県北部地域の振興」に係る経費など総額6,823億4千万円を計上する「令和8年度一般会計予算」や、年度内における各事業の執行状況および最終的な財源見通しに基づき、所要額を精査したことなどにより、総額4億9,606万4千円を追加する「令和7年度滋賀県一般会計補正予算(第9号)」など、知事提出議案79件と議員提出議案8件が上程されました。

各委員会では、付託された各議案、請願その他所管事項について審議等を行いました。

また、令和8年度予算を総合的に審査するため、委員38人で構成する予算特別委員会が設置され、3日間にわたり質疑を行い、さらに分科会調査を2日間実施しました。

これらの審議の結果、意見書案1件を否決したほか、いずれも原案のとおり可決または同意しました。

●「交通税」に関する決議案を可決

県当局が策定している滋賀地域交通計画に対し、県民の不信感や負担増に対する不安は大きく、県民政策コメントにおいても多くの意見が寄せられたことから、「交通税」の導入に固執することなく、本県の交通のあるべき姿に向けて、予断を排して真摯に検討することを求めた決議案を可決しました。



令和8年度予算

昨年9月に示された予算編成方針では、「ともにいきる『健康しが』というテーマのもと、6本の柱と集中的な取組が示され、年頭の挨拶においても「ともいき」ともいさともいさだて」の思いをもって「ともにいきる『健康しが』を進めていく」と知事は述べられました。このような方針や柱に沿って多くの施策が当初予算に挙げられていますが、知事は、令和8年度当初予算に、どのような思いを込めたのか伺います。

問 2050年を見据え、私たちが暮らす「暮らし」や「社会」のあり方を、みんなで「リ・デザイン」していく端緒の年にしたいとの思いから、今できることから着実に実行に移すとともに、これまで積み上げてきたことをさらに充実させることを意識して予算編成を行ってききました。

答 また、物価高騰が長引く中、生活者や事業者が寄り添いながら、一人ひとりの生老病死や日々の生活、労働、経営など、「リアルな今」の暮らしや仕事を支えることにも心を砕いてきました。

さらには、「国スポ・障スポ」や「大阪・関西万博」で得た感動や、つながりなど有形無形の価値をみんなへ、また、未来へと繋いでいく「レガシーの継承・発展」にも意を用いてきたところで、こうした考えのもと、みんなで、

「ともにいきる『健康しが』をより一層、前へと進めていきます。

医療福祉拠点

問 医療福祉拠点の整備について、人材養成機能の事業候補者として、京都女子大学等を運営する京都女子学園を選定されました。

答 京都女子学園では、文部科学省で検討中の「4年間の学部教育と大学院修士課程を合わせた5年一貫教育」の導入や、潜在看護師の復帰を促すリカレント教育の構想もあると聞いています。

問 ここまで長い期間を要しましたが、知事が約10年前に表明された「医療福祉拠点構想」が、ようやく前に進む見通しが立ってきたと思えます。京都女子学園を事業候補者として選定したことについての受け止めを伺います。

答 人材養成機能の整備は、将来、大きな不足が見込まれる看護人材の確保を図る上で、大変重要だと考えており、今回、京都女子学園を事業候補者として選定できたことで、大きな一歩を踏み出せたと考えています。

産業振興

問 本県経済を牽引する成長を生み出し、振興していくことが、本県経済の力強い成長に向けて重要です。現在、地方創生・公共交通対策特別委員会では、議員提案により「滋賀県企業立地および先端技術研究開発の促進等による成長産業振興条例」の制定を目指し議論が進められています。

答 県内には、先進的あるいは独創的な研究シーズを有する大学や、高い技術力を持つ企業が集積し、先端科学技術を活かし成長分野にチャレンジしようという動きが活発な状況です。

問 県では今年度から、県内中小企業の成長分野への新規参入を促進するなど、取組を強化しています。が、どのような展望と課題が見えてきたのか伺います。

答 今年度は、「成長産業の創出」に向け、研究開発支援やスタートアップ発掘育成など従来の取組に加え、工業技術センターへの先端機器の導入、大学等と連携したリスクリング講座、技術開拓のための企業訪問等を通じ、成長産業への新規参入を促進したところです。

地域交通

問 滋賀県では、地域交通ビジョンを実現するために、現在、「滋賀地域交通計画」を策定中です。交通を社会インフラと捉えつつも、人口減少や就労人口の減少など、社会状況の変化の中で、現在の交通さえ維持することが困難になってきています。

答 計画を絵に描いた餅にしないためには、市町や事業者、そして、利用する県民と共に状況を理解し、共に考え、共に取り組むことが大切だと考えます。現在の滋賀の交通をどのように捉え、この計画において何を重点的に取り組もうとしているのか伺います。

様々な検討が進められています。が、県においても課題を共有し、計画実現に向け、ともに取組を進めていきたいと思えます。

また、総合大学である京都女子大学とは、看護に限らず、幅広い分野で連携していきたいと考えており、全庁挙げての関係構築にも努めていきます。



自動運転バスの実証運行(彦根市)

用語解説

- ※1 「リカレント」…… 学校教育からいったん離れたあとも、それぞれのタイミングで学び直し、仕事で求められる能力を磨き続けていくこと。
- ※2 「研究シーズ」…… 研究機関(大学、公的研究所など)が保有する、実用化される可能性のある研究成果や技術・知識のこと。(研究の種)
- ※3 「スタートアップ」…… 新しい企業であって、新しい技術やビジネスモデル(イノベーション)を有し、急成長を目指す企業のこと。
- ※4 「リスクリング」…… 新しい職業に就くために、あるいは、今の職業で必要とされるスキルの大規模な変化に適応するために、必要なスキルを獲得する/させること。
- ※5 「エコシステム」…… 政府・教育機関・民間企業・金融機関・高度人材等の各主体が、協業や連携をすることで、相互に補い共存する仕組みを構築し、高い価値を生み出すこと。

(裏面に続きます)

答 本県の地域交通は、利用者の減少、運転手不足等からの

廃線や減便などが発生しており、免許返納者や車を運転できない学生の日々の移動が困難であるなどの社会課題が存在し、そういう状況が年々高まっています。

本計画では、まずはこの5年間で、駅までのアクセスが充実し、交通空白地が解消され、地域内の移動が円滑な状態となるための二次交通の充実・高度化に重点的に取り組んでいきます。

そのためには、地域交通について県民の皆様と共通理解を醸成し、一緒に考え、議論することが大切だと思ひ、これまで対話を重ねてきたワークショップやフォーラム等については、来年度以降も取組を継続していきます。

さらに、福祉や教育、観光、産業立地等の施策も含め、各地域が目指すまちづくりの方向性のもとで、地域交通を整え、充実していくことが重要とも考え、市町や経済、福祉などの関係団体・事業者との連携をより強化して取り組んでいきます。

県立高校

問 私立高校授業料無償化拡大の影響に加え、少子化や通信制高校への進学者増など県立高校の生徒の減少が確実な中、県立高校の在り方の検討がスタートしました。総論賛成、各論反対といった様々な意見が噴出することも予測されます。是非とも「何よりも子どもたちのために、生きる力を育むための学びを保証する」という本来の目的を見失うことなく進めてもらいたいと思ひます。

県立高校の在り方検討を、今後

答 どのように進めていくのか伺います。

子どもたちの視点を出発点に置いて、子どもたちの意見を反映しながら、通学のしやすい範囲の中に、興味・関心に応じた進路選択の機会を確保する、という観点を大切にしたいと考えています。

具体的には、「一人ひとりの教育ニーズに寄り添った学びの充実」、「産業教育の振興」、「地域と連携・協働した学びの展開」、「高校と大学、中学校と高校との連携・接続」、「学校の維持や再配置」などについて検討を進めていきたいと思ひます。

また、県民との対話の機会を設定するなど、広く県民の皆様から高校の在り方について意見を伺いながら取り組んでいきます。

議会トピックス

2月定例会議で可決した議員提案条例の概要

●滋賀県企業立地および先端技術研究開発の促進等による成長産業振興条例

将来にわたり安定した需要が見込まれる成長産業に力点を置いた企業立地を促進し、先端的な技術等に関する研究開発を進めるため、地方創生・公共交通対策特別委員会が調査研究を進め、「滋賀県企業立地および先端技術研究開発の促進等による成長産業振興条例」を制定しました。
成長産業の振興による地域経済の健全な発展と県民生活の向上を目的とし、県の責務や、企業立地の促進、研究開発の促進、人材の確保、学習の振興等の基本的な施策を定めています。

●「滋賀県議会ナビ～若者が滋賀の未来をつくる～」開催！
(東大津高等学校、北大津高等養護学校)

若者の議会への興味と関心を深めるための取組の一環として、議員が学校へ向いて講義や意見交換等を行う「滋賀県議会ナビ～若者が滋賀の未来をつくる～」を1月14日に滋賀県立東大津高等学校で、1月19日に滋賀県立北大津高等養護学校で実施しました。
東大津高等学校では奥村芳正議員、富波義明議員が、北大津高等養護学校では清水鉄次議員、柴田栄一議員が議会の仕組みや議員の仕事について説明しました。



附帯決議の概要

「滋賀県環境影響評価条例の一部を改正する条例案」について、成長産業をはじめとした特定の事業に関する緩和規定を設けるなど、条例の将来的な見直しを不断に行うことを県当局に求めました。

また、「令和8年度滋賀県一般会計予算」のうち、県立美術館の施設の機能充実のための整備に係る予算の執行に関して、整備費用の総額も含めたびわこ文化公園全体の施設整備の見通しを立て、漫然と整備費用を増額させないよう努めることを県当局に求めました。

1月26日臨時会議の概要

2月8日の第51回衆議院議員総選挙および第27回最高裁判所裁判官国民審査に要する経費を計上した令和7年度滋賀県一般会計補正予算(第8号)について常任委員会での審議を行い、可決しました。

議案番号	件名	結果
(知事提出) 議第1号	令和7年度滋賀県一般会計補正予算(第8号)	可決

議会からのお知らせ

●議員の辞職

河井昭成議員および重田剛議員から辞職願が提出され、河井議員にあっては令和8年1月26日の臨時会議において、重田議員にあっては令和8年3月23日付けで辞職が許可されましたのでお知らせします。

●滋賀県議会ホームページ、X(旧ツイッター)

本会議や委員会の開催情報、議会の仕組み、議員の紹介、会議録など、県議会の最新の情報を随時掲載しています。議会だより(広報紙、音声版)のバックナンバーも閲覧、聴取いただけます。また、本会議の様子はライブ中継と録画配信をしています。

滋賀県議会ホームページ <https://www.shigaken-gikai.jp/>
滋賀県議会 X(旧ツイッター) (アカウント名 @shigakengikai)

スマートフォン等でもご覧いただけます。



読者プレゼント

議会に対するご意見や、議会だよりのご感想をお寄せください。抽選で10名様にプレゼントが当たります!

【応募締切】 令和8年5月10日(日) 当日消印有効
【応募方法】 ハガキ: 〒520-8577 滋賀県大津市京町四丁目1-1 滋賀県議会事務局 政策調査課
Email: gikai@pref.shiga.lg.jp
FAX: 077-528-4940
フォーム: 右の二次元コード



今回のプレゼント



- 【記載事項】**
 - 議会へのご意見
 - 議会だより第131号のご感想
 - 〒住所
 - 電話番号
 - 氏名
 - 年代(例: 10代)

個人情報の取り扱い: いただいた個人情報は「滋賀県議会の保有する個人情報の保護に関する条例」に基づき適正に取り扱い、抽選とプレゼント発送以外には使用いたしません。当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。

2月定例会議で審議した主な議案

議案番号	件名	結果
(議員提出) 会第1号	滋賀県企業立地および先端技術研究開発の促進等による成長産業振興条例案	可決
会第2号	滋賀県議会委員会条例の一部を改正する条例案	可決
(知事提出) 議第2号～議第17号	令和8年度滋賀県一般会計予算 ほか15件	可決
議第18号～議第45号	滋賀県部等設置条例等の一部を改正する条例案 ほか27件	可決
議第46号～議第48号	契約の変更につき議決を求めることについて(滋賀県立琵琶湖文化館整備事業) ほか2件	可決
議第49号	滋賀県母子および父子ならびに寡婦福祉資金貸付金に係る償還金および違約金の請求訴訟の提起につき議決を求めることについて	可決
議第50号～議第51号	国の行う土地改良事業に要する経費について関係市町が負担すべき金額を定めることにつき議決を求めることについて ほか1件	可決
議第52号	公立大学法人滋賀県立大学定款の変更につき議決を求めることについて	可決
議第53号	包括外部監査契約の締結につき議決を求めることについて	可決
議第54号	滋賀県農業・水産業基本計画の策定につき議決を求めることについて	可決
議第55号～議第71号	令和7年度滋賀県一般会計補正予算(第9号) ほか16件	可決
議第72号	滋賀県高等学校等教育改革促進基金条例案	可決
議第73号～議第75号	県の行う建設事業に要する経費について関係市町が負担すべき金額を定めることにつき議決を求めることについて ほか2件	可決
議第76号	令和7年度滋賀県一般会計補正予算(第10号)	可決
議第77号	契約の変更につき議決を求めることについて(滋賀県東北部工業技術センター整備事業)	可決
議第78号～議第80号	滋賀県教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて ほか2件	同意

2月定例会議で審議した決議・意見書

番号	件名	結果
決議第1号	「交通税」および滋賀地域交通計画に対する決議(案)	可決
意見書第1号	燃料油価格高騰に対する緊急的かつ実効的な財政支援を求める意見書(案)	可決
意見書第2号	非核三原則の堅持を求める意見書(案)	否決
意見書第3号	婚姻の平等に関する法整備に向けた丁寧な議論の促進を求める意見書(案)	可決
意見書第4号	防衛力の抜本的強化に向けた着実な取組を求める意見書(案)	可決
意見書第5号	北朝鮮による日本人拉致問題の早期解決を求める意見書(案)	可決

この印刷物は古紙パルプを配合しています